

SAPIX	6年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 14回 規則性に関する問題 15回 点の移動 16回 和と差に関する問題 17回 割合		
家庭学習ポイント	6月は5月に引き続き、既習の重要単元をより深める学習が続きます。解法や整理のしかたなどを確認しながら、丁寧に学習を進めましょう。14回「規則性に関する問題」にはテープつなぎやリングの問題など入試頻出の小問、方陣算なども含まれています。分数の数列も「定番」ですから考え方や「このような視点で見ると糸口が見つかることが多い」といった傾向も確認しておきたいですね。第15回「点の移動」は、自分でしっかり図が書けるかどうかによって、解けるかどうかが決まってきます。問題の図に書き込むだけでなく、自分で図を書くよう心がけましょう。第16回も大きなくりで「和と差に関する問題」を復習します。和差算、消去算、つるかめ算、平均算、集合算、差集め算などです。いずれも「基礎の基礎」といったレベルではなく、実際に入試に出されるレベルの問題ばかりなので、しっかり解き方をチェックしていきましょう。第17回「割合」も同様に、基本問題だけでなく濃度の問題や比の問題まで含まれます。		
課題の把握と解決策	チェック1	テープつなぎ、リングつなぎの問題では、複数の解き方を使い分けていますか？	チェック
	解決策	入試には、1つの考え方だけでは解けないタイプの問題が出題されます	□
	チェック2	方陣算を手際よく解くための図が書けていますか？	チェック
	解決策	基石をすべて書くのではなく、模式図を書いて手際よく考える必要があります	□
	チェック3	点の移動の問題で、テキストの中の図だけで解こうとしていませんか？	チェック
	解決策	小問が多い場合や図が小さい、または正確でないなど様々な場合があり自分で書くのがいいでしょう	□
	チェック4	文章題を読んだ瞬間に「考え方の方向性」が見えていますか？	チェック
	解決策	閃かなかったものは、この時期にあらためて知識を補充しておきましょう	□
	チェック5	割合や比の問題で、基準となる量が変わる問題に対応できていますか？	チェック
解決策	割合、比の問題の作業はほとんどかけ算の式で表されます。その式のどこを求めるのか意識しよう	□	
SAPIX	6年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 14回 文章テーマ/物語文06 恋愛 物語文 15回 文章テーマ/論説文06 異文化にふれる 論説文 16回 知の冒険/これまでに学んだ詩・短歌・俳句を総復習しよう 物語文 17回 文章テーマ/論説文07 科学と生きる私たち 随筆文		
家庭学習ポイント	第14回の文章テーマは「恋愛」です。特に男子にはピンとこない子が多い分野かもしれません。思春期の少年の心情を「学校で目立って恥をかく＝地雷」「傷つきやすい心＝ガラスの心」といった比喩を使って表現しているのを読み取っていきます。恋愛に関する文章が苦手というお子さんには、意識的に親御さんが「解説」をしてあげてもいいかもしれません。15回のA授業は論説文でテーマは「異文化に触れる」です。論説文ではよく「対比」が用いられますが、ヨーロッパとアジアといったテーマは典型的なものの一つですね。16回では、A授業でこれまでに習った韻文（詩・短歌・俳句）を総復習します。筑駒や灘中、青山学院などは毎年のように韻文を出題する学校として知られていますが、どこを受験するにしても一通りは読み方の「型」を身につけておいたほうがいいでしょう。第17回では科学技術を扱った論説文を学びます。		
課題の把握と解決策	チェック1	お子さんは、敬語を使っていますか？	チェック
	解決策	動作の主体に注目。入試で問われる尊敬と謙譲を見破りましょう	□
	チェック2	A授業「解法メソッド」の解説を活用できていますか？	チェック
	解決策	自分なりに考えて解くことも大切ですが、解説の傍線部や脚注読んで参考にしてみましょう	□
	チェック3	B授業の記述部分が空白だらけになっていませんか？	チェック
	解決策	記述は「とりあえず書く」ことが重要ですが「手がかりは？」の部分もしっかり書きましょう	□
	チェック4	詩・短歌・俳句をただなんとなく読んでいませんか？	チェック
	解決策	このような分野の文章は、映像のように情景を思い浮かべてみるのが大切です	□
	チェック5	比喩が具体的に何を意味しているのか把握できていますか？	チェック
解決策	比喩によって何を、何に例えているのか、その共通点を知っていることが大切です	□	

SAPIX	6年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 14回 電熱線 15回 滑車・輪軸 16回 浮力 17回 熱と水蒸気		
家庭学習ポイント	物理、化学単元が続く1ヶ月です。扱われる問題もレベルは入試問題に近いものになってきています。第14回は「電熱線」で、電熱線の長さ、太さ（断面積）と電気抵抗の大きさにどのような関係があるか、を立体的に理解していく内容になっています。「電熱線の長さが長い＝通りにくい道が長くなり、さらに通りにくい＝電気抵抗が大きい」「電熱線の断面積が大きい＝通りにくい道が広がって通りやすくなる＝電気抵抗が小さい」というイメージをしっかりとつける最後のチャンスですね。第15回は滑車と輪軸です。力学分野では取り組みやすい単元ですが、本格的には中学校で学習する「仕事の原理」（力で得をすれば動かす距離で損をする＝力の大きさ×動かす距離は一定）を、納得を持って身につけることが大切です。第16回の浮力は逆に、6年生になった今でも納得できる形で理解していないお子さんが多い単元です。「アルキメデスの原理」という名前はいつでもいいのですが「押しのけた分だけ押し返される」ということをしっかりと理解しておくことが大切です。水に浮くもの、水に沈むものを順に、しっかり理解した上で、同じ原理の上に成り立っていることが納得できれば素晴らしいです。17回は熱による水やその他の物質の変化（温度変化・体積変化・状態変化）を復習します。特に温度の違う水を混ぜたときの温度変化は重要です。		
課題の把握と解決策	チェック1	電熱線の長さや太さ（断面積）と電気抵抗の大きさについて、正しく説明できますか？	チェック
	解決策	長い＝通りにくい＝抵抗が大きい・太い＝通りやすい＝抵抗が小さい、というイメージで	□
	チェック2	直列・並列つなぎと電熱線の発熱量について、正しく説明できますか？	チェック
	解決策	特に並列回路の場合は「流れやすい方に多く電流が流れる」ことに注意が必要です	□
	チェック3	動滑車を使った場合のひもを引く距離と物体の移動距離について、正しく説明できますか？	チェック
	解決策	上記の「仕事の原理」を使って「重さで得をすると…」と説明できればいいですね	□
	チェック4	浮力を考えるとき「液体につかっている部分の体積」に注目していますか？	チェック
	解決策	「押しのけた分だけ押し返される」ですから「水面下部分の体積」に注目ですね	□
	チェック5	温度の違う水の混ぜ合わせ問題で「てんびん図」を使いこなしていますか？	チェック
解決策	濃さの違う食塩水のまぜあわせと同じと考えよう。面積図でも考えられます	□	
浜学園	6年		
	社会		
学習内容	6月の学習内容 14回 三権分立の仕組みと選挙制度 15回 地方自治・社会保障・財政 16回 わたしたちの暮らしと経済 17回 現代社会の諸問題（1）～日本～		
家庭学習ポイント	6月中に、いったん公民分野の学習は終了してしまいます。かなりの短期間での学習ですが、不安が残っているお子さんは夏休みに「コアプラス」などでさらに一巡やりなおすなど、心づもりをしておくといよいでしょう（次に本格的に出てくるのは入試直前です）。14回は三権分立と選挙についてです。裁判員制度の仕組みについては、しっかりと自分で説明できるくらいに知識を確実なものにしておきましょう。三権分立については国民を中心とした図で理解した上で「もっと知りたい」でモンテスキューのことを学んでみてください。第15回は地方自治や社会保障等です。憲法や三権分立の話に比べると、ぐっと私達の生活に近い話になります。そのぶん入試にもよく扱われるテーマです。社会保障に関しては「4本の柱」（社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生）がそれぞれどういったものかを、具体例をあげて説明できるようにしておくことが大切です。16回は経済の話題になります。通貨の話やインフレ・デフレなど、日常生活でもよく耳にする話であり、知ってみたいと感じているお子さんも多いのではないのでしょうか。円高や円安も「円安は輸出に有利」といったレベルの知識でなく、なぜ円安は輸出企業にとって有利なのかを説明できるようにしておくことが大切です。		
課題の把握と解決策	チェック1	なぜ三権分立が大切なのかを説明できますか？	チェック
	解決策	ヨーロッパでは一人の王が絶対的な権力を持っていた、というところから説明してみましょう	□
	チェック2	日本の選挙の問題点について正しく説明できますか？	チェック
	解決策	投票率、一票の格差から説明してみましょう	□
	チェック3	地方政治と国の政治の間にはどのような違いがあるか、正しく説明できますか？	チェック
	解決策	「直接請求権」というキーワードで説明してみましょう	□
	チェック4	インフレとデフレについて正しく説明できますか？	チェック
	解決策	「需要」「供給」「貨幣の価値」というキーワードで説明してみましょう	□
	チェック5	テキストの「もっと知りたい」を読んでいますか？	チェック
解決策	もちろんテストの範囲ではあるのですが、読むことによって知識が立体的になります	□	